

2017年7月14日
生活協同組合コープみらい

千葉県在住の親子が“食”を通じて環境問題を考える企画
『夏休み親子環境教室』
「コープみらい八街の森」にて7月23日(日)開催

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）
千葉県本部は、7月23日（日）10時より「コープみらい八街の森」にて、“食”を通して環境問題を考える企画『夏休み親子環境教室』を開催します。

『夏休み親子環境教室』は、コープみらいの組合員親子25名を対象に、参加者自らが環境問題について考え、発見することを目的とした2部制の企画です。第1部では、普段口にしてしている食べ物がどこからきているのかを世界地図を用いて子どもたち自身が調べ、発表します。また、NPO法人 環境カウンセラー千葉県協議会より講師を迎え、フードマイレージ[※]の視点から地産地消の重要性を学びます。

第2部では、千葉県の野菜や収穫量をクイズ形式で学んだあと、農事組合法人 佐原農産物供給センター及び農事組合法人 富里産直にご協力いただき、千葉県内で採れた旬の野菜を用いた夏野菜カレー作りに親子で挑戦します。

※ 食料の輸送量に輸送距離を掛け合わせた値で、食料の輸送に要する燃料や二酸化炭素の排出量が環境に及ぼす負荷の程度を表す指標。

— 『夏休み親子環境教室』開催概要 —

【開催日時】 7月23日（日）10時～13時30分

【会場】 コープみらい八街の森（住所：千葉県八街市八街ほ 706-1）

【プログラム】 <第1部> 「食べ物から考える地球温暖化 ～私たちの食べ物はどこからくるの？～」

講師：NPO法人 環境カウンセラー千葉県協議会

- ・ 普段食べている食品の産地を、世界地図を用いて学習
- ・ フードマイレージの視点から地球温暖化の仕組みおよび地産地消の重要性を学習
- ・ 子どもたちによる学びと発見の発表

<第2部> 「千葉県内の野菜紹介と夏野菜カレーの調理学習」

協力：農事組合法人 佐原農産物供給センター、農事組合法人 富里産直

- ・ 千葉県の野菜や収穫量をクイズ形式で紹介
- ・ 農業における環境問題の学習
- ・ 千葉県産の旬の野菜を用いた夏野菜カレー作り

＜生活協同組合コープみらい 概要＞

- 【住所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5
- 【理事長】 新井 ちとせ（あらい ちとせ）
- 【組合員数】 338万人（2017年6月20日現在）
- 【総事業高】 3,853億円（2016年度）
- 【事業エリア】 千葉県、埼玉県、東京都
- 【ホームページ】 <http://mirai.coopnet.or.jp/>